

# 月形町の公共交通について



## 運行開始から1年が経過

JR 札沼線の廃止に伴う札沼線バスは、新たな公共交通として運行開始から1年が経過しました。昨年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、月形町の新たな公共交通は、出はなをくじかれるかたちとなりましたが、大きな事故や遅延などもなく運行しています。

路線バスやハイヤーなどの公共交通は、地域の足としてなくてはならない存在です。通勤・通学はもちろんのこと、買い物や通院など日常生活での利用でも大きく貢献しています。

そこで今回は、地域の皆さんで守っていかねばならない公共交通の路線バスについて取り上げます。

## 町内路線バスの現状

路線バスは全国的に利用が低迷しており、月形町内を運行している路線バスも同じ状況です。町内を運行する路線バスの現状をお伝えします。

## 中央バス 月形線

本路線は、月形から岩見沢を運行する路線です。通勤・通学・通院など広く利用されている交通手段であり、特に岩見沢市へ通学する高校生にとってなくてはならない路線です。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、メイン利用層である通学者の利用が落ち込みました。また、近年の利用状況を受け、令和3年4月から8便から6便(平日)に減便されています。

### ▼乗車人員の推移

年度	人員(人)
H28	75,105
H30	56,443
R2	38,089

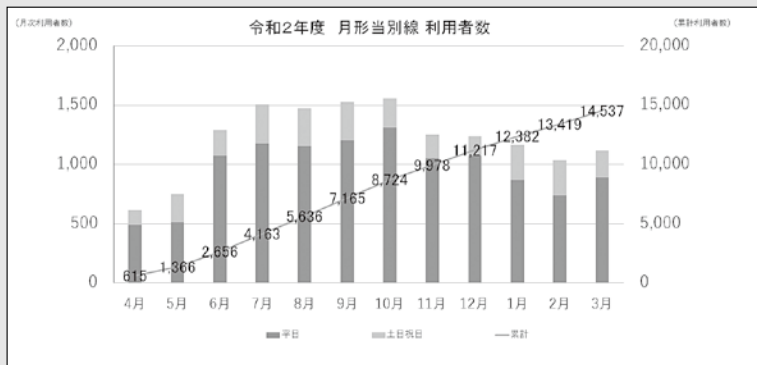
## 札沼線バス 月形当別線

本路線は、月形から当別を運行する路線です。町内通勤や札幌の学校へ通う学生が主に利用しており、札幌市との往来に必要な交通手段であり、夜間の帰宅にも対応している路線です。

令和2年度は、大学などでオンライン授業が始まったことや各イベントなどが中止となったことで通学者や観光客などの利用が落ち込み、利用は伸び悩む結果となりました。

### ※ JR と 札沼線バスの平日乗車人数比較 (石狩当別駅～月形駅)

● JR (H 30) ⇒ 108 人/日  
● 札沼線バス (R 2) ⇒ 47 人/日



## 札沼線バス 月形浦臼線

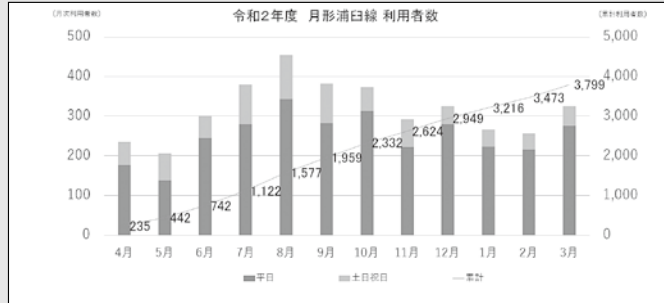
本路線は、月形から浦臼を運行する路線です。

町内通勤や浦臼町からの月形高校通学、町立病院や歯科の通院、買い物などに利用されているほか、滝川市への接続も可能となっています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、外出自粛や自家用車を使用することが増え、利用は伸び悩む結果となりました。

※ JRと札沼線バスの平日乗車人数比較  
(月形駅～浦臼駅)

● JR (H 30) ⇒ 36人/日  
● 札沼線バス (R 2) ⇒ 12人/日



## ニューしのもつバス

本路線は、江別～新篠津～月形間を運行する路線バスです。

便数は少ないですが、新篠津村から通学している月形高校生が主に利用しているほか、江別市との往来も可能となっています。

# 月形町のアクセス一覧

各路線バスで行ける場所や時間、月形町から目的地までの料金をまとめました。

### 中央バス月形線

目的地	時間	料金
①岩見沢市	①約40分	①780円
②札幌市[JR乗換]	②約1時間20分	②1,750円
③新千歳空港[JR乗換]	③約2時間20分	③3,010円

### 札沼線バス月形当別線

目的地	時間	料金
①当別町	①約50分	①400円
②札幌市[JR乗換]	②約1時間30分	②1,150円
③小樽市[JR乗換]	③約2時間30分	③1,890円

### 札沼線バス月形浦臼線

目的地	時間	料金
①浦臼町	①約30分	①400円
②滝川市[中央バス乗換]	②約1時間10分	②1,000円

### ニューしのもつバス江別月形線

目的地	時間	料金
①新篠津村	①約30分	①460円
②江別市	②約1時間	②840円

月形町を運行している路線バスは、乗車人数が減少しており、非常に厳しい現状であり、このままいくと運行事業者の負担が増加し、町の財政負担も大きくなるのが予想されます。また、減便が進んでいくと、通勤・通学の手段がなくなり、子どもを持つ家庭は町外へ転出するなど、人口減少にもつながります。さらに、ご自身が将来、自家用車を運転しなくなり、公共交通に頼ることになったとき、利用できる交通手段がないという状況も考えられます。

町としては、運行事業者と連携し、ダイヤ改正や利用促進につながる施策を実施していき、利用者の確保に向けて取り組んでおりますが、将来にわたって公共交通を残すためには、地域の皆さんが「利用する」しかありません。まずは路線バスに乗って外出してみませんか。

問合せ先 企画振興課地域振興係 ☎ IP 53・2325

